

# InsertTag 操作説明書

## 1. はじめに

このたびは、「InsertTag」をダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。

「InsertTag」は、ファイルに存在する UNICODE の私用領域文字を検索し、発見した UNICODE の私用領域（U+E000～U+F8FF）にある文字（文字列）を指定した文字列（通常は<font>などのようなタグを想定）にて囲むことを目的として作成されています。

例えば、InDesign などの DTP ソフトでは、Windows の EUDC のようなリンク形式の外字フォントは使用できないため、外字は単独のフォントとして利用できなければなりません。

その場合、UNICODE の私用領域の文字ごとにフォント切り替えの作業が発せしてしまいます。

外字を含めたフォントを私用できれば問題はありませんが、内字と私用領域のフォントが異なる場合には、フォント切り替えの捜査は避けられません。

このため、私用領域の文字に対しては、何らかのしるしを付加して、組版ソフトがフォント切り替えを行えるように処理することが望まれることになります。

「InsertTag」は、主に、この目的を達成するために開発されたものです。

## 2. インストールおよびアンインストール

インストールは、「InsertTag.exe」を適宜、ご使用のコンピュータのハードディスクに移動していただくだけで構いません。本プログラムは、レジストリーへの登録を行いません。

アンインストールは、「InsertTag.exe」をゴミ箱に移動していただくだけで構いません。

## 3. 動作環境

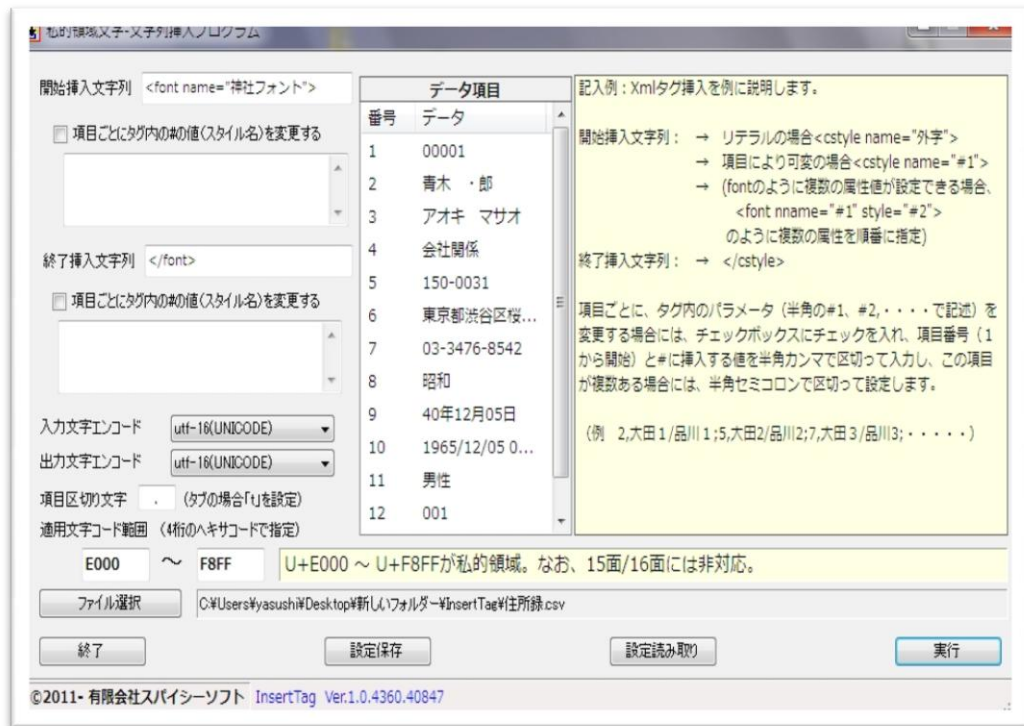
本プログラムは、VisualStudio2010 にて、.NET4.0 をターゲットにして、C#にて開発しております。

従いまして、動作環境としては、.NET4.0 が動作している Windows OS となります。ちなみに、Windows7/VISTA にての動作確認をしております。

## 4. 操作方法

### ① プログラムの起動

[InsertTag.exe]を起動すると、次のような画面が表示されます。



### ② ファイル選択

「ファイル選択」ボタンをクリックし、処理するファイルを選択します。

ファイルを選択すると、「データ項目」のリストビューにファイルの1行目の各項目が上図の様に表示されます。

ファイルは、csv またはタブ区切り形式とし、「ファイル選択」を行う前に、処理ファイルについて、以下の2つの属性を設定しておく必要があります。

#### ● 「入力文字エンコード」

処理ファイルの文字エンコーディングを設定します。設定可能なエンコーディング「UNICODE または Shift-JIS」のいずれかになります。

#### ● 「適用区切り文字」

処理するファイルの項目区切り文字を設定します。

デフォルトは半角カンマで「,」がテキストボックスに表示されます。タブ区切りにする場合には、[t]を入力します。また、これ以外の文字も区切り文字として使用できますが、1文字の身となります。

### ③ 処理内容の設定

実際に処理を行うのに必要な設定を行います。

#### ● 適用文字コード範囲

検索対象となる文字コードの範囲を、UNICODE の私用領域内の範囲で指定します。この時、設定する文字コードは4桁の16新コードとします。

例えば、0xE123～0xE6EF の範囲を対象としたい場合には、

E123    ~    E6EF

のようになります。

#### ● 挿入文字列の設定（単純挿入）

検索対象文字が発見された場合に挿入したい文字（列）は、開始挿入文字列と終了挿入文字列に分けて設定することができます。

通常使用される XML タグ挿入を考えると

開始文字列としては、<style align="center">

終了文字列としては、</style>

のように、対となったタグを設定することが考えられます。

しかしながら、本プログラムでは、開始挿入文字列と終了挿入文字列の整合性を検査するということはありませんので、開始挿入文字列、終了挿入文字列のいずれに対しても、タグ形式でなければならないとか整合性がなければならないとかの制約は設けていません。

このように、単純に、開始文字列と終了文字列を挿入するだけならば、「開始挿入文字列」と「終了挿入文字列」のテキストボックスに、適宜、必要な文字列を設定しておくだけで構いません。

### ④ 挿入文字列の設定（条件挿入）

条件挿入は、単純挿入が検索でマッチングした文字の前後に、それぞれ設定された文字列を挿入するだけというのに対し、

- ・ 何番目の項目に処理を行い
- ・ 挿入文字列内プレースホルダーに対して可変文字列を挿入する

という点が異なります。

以下、開始挿入文字列も終了挿入文字列も同様な処理のため、開始挿入文字列を例にして説明します。

「項目ごとに t タグ内の#の値（スタイル名）を変更する」チェックボックスにチェックを入れ、その下のテキストボックスに条件を記述します。

条件は、1 から始まる処理データの処理項目番号とプレースホルダー毎の挿入する文字列を連続して記述して行います。

例えば、開始挿入文字列を

**<spicytag font=" #1" size=" #2" weight=" #3" >**

とし、データ項目の2項目目と6項目目に対して処理を実行すると考えると、次のような記述となります。

**2, 小塚明朝/12/L;6, 小塚ゴシック/20/B**

すなわち、

**項目番号+半角カンマ+#1 差し替え文字列+半角スラッシュ+#2 差し替え文字列+半角スラッシュ+#3 差し替え文字列**

が、1つの項目に対する設定方法となり、複数の項目での処理が設定される場合には、個別の項目での処理の記述を、半角のセミコロンで繋げて行き、複数の項目の処理設定を行うということになります。

プレースホルダー順番は必ず半角の#1,#2<・・・と連続していなければなりません。

行の移動

編集画面にて行を移動する場合には、行ヘッダー部分をマウスでクリックし、そのまま移動先にマウスをドラッグ・ドロップすることで移動することができます。

#### ⑤ 出力文字エンコード

処理結果のデータをファイルに書き出す時の文字エンコーディングを「UNICODE または Shift-JIS」のいずれかから選択します。

#### ⑥ 「実行」

「実行」ボタンをクリックすると処理結果を保存するファイル名を設定するダイアログが表示されますので、適宜ファイルを設定します。

出力ファイルの設定が終わると処理が開始され、ファイルに書き込まれます。

#### ⑦ 設定保存

処理で設定した内容は、「設定保存」ボタンをクリックしファイルに保存することができます。

⑧ 設定読み込み

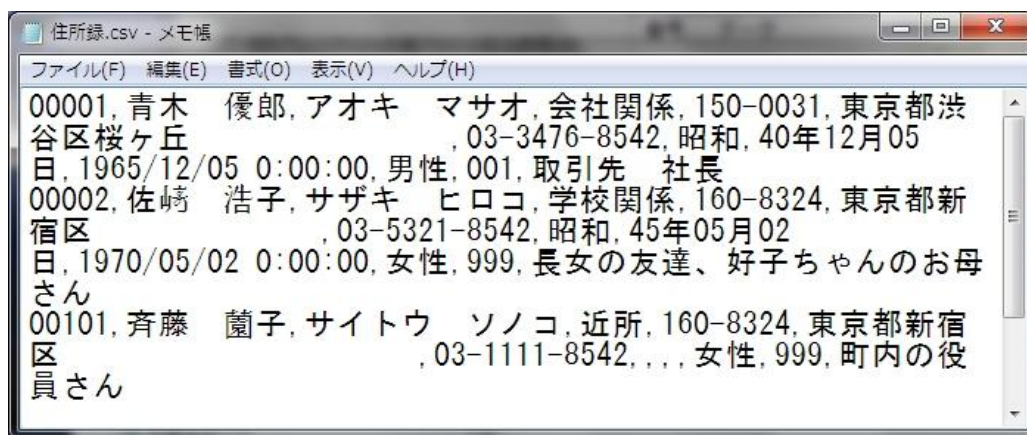
保存した設定ファイルは、「設定読み込み」ボタンをクリックすることで内容を読み取り、設定画面の値を保存した内容で設定します。

⑨ 終了

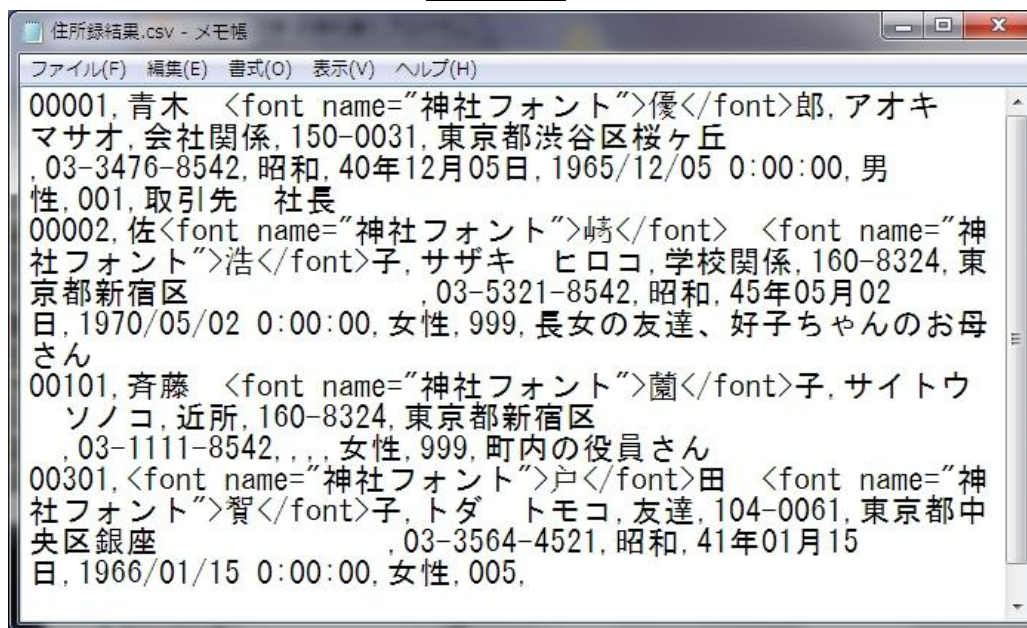
「終了」ボタンをクリックし、プログラムを終了させます。

5. サンプル

サンプルとして。処理ファイル「住所録.csv」と処理結果ファイル「住所録結果.csv」及び、設定内容保存ファイル「test1.icd」を同梱しています。



元ファイル



処理結果ファイル

サンプルは、「神社フォント」を私用領域のフォントとして設定しています。

サンプルとして見えるように表示フォントを神社フォントにしていますが、表示フォントをその他のフォントに変更すれば、処理結果のタグで挟まれた文字は表示されないことになります。

## 6. 更新履歴

Ver1.0      2011 年 12 月 10 日      新規作成

## 7. 免責

本プログラムを使用して生じたいかなる損害についても、弊社は、その責を免れるものとします。

本プログラムをご使用になる場合には、この免責事項をご了承したものいたします。

## 8. 著作権

本プログラム及びプログラムに付帯するドキュメント及びデータのすべての著作権は、有限会社スパイシーソフトにあります。

本プログラムは、無償でのご使用を認める、フリーウェアソフトですが、著作権を放棄するものではありません。

本プログラムのリバースエンジニアリングを禁止いたします。

## 9. その他

本プログラムの配布は、自由に行っていただいてもかまいませんが、配布に際しては、すべてのファイルを含んだものとして行わなければなりません。一部分のみでの配布が行わないでください。

本プログラムに関する、いかなる問い合わせにもお答えいたしかねます。ただし、バグ及び私用上の改善要求などに関しましては、メールに出ご報告いただければ幸いです。即時の対応は難しいですが、逐次、改善してまいります。

2011 年 12 月 10 日

有限会社スパイシーソフト

〒143-0011 東京都大田区大森本町 1-8-12-S104

URL: <http://www.spicy-inc.jp>

Mail: [info@spicy-inc.jp](mailto:info@spicy-inc.jp)

(メールをご利用の場合には、余分な@を削除してください)